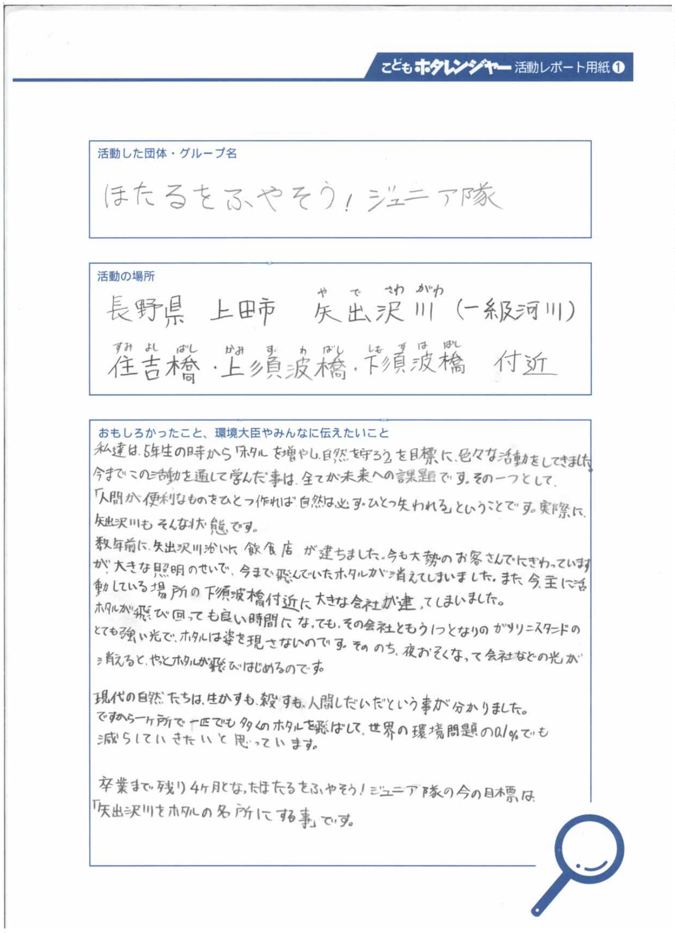
＜参考＞昨年度の活動レポート

環境大臣賞：ホタルをふやそう！ジュニア隊（長野県上田市清明小学校）

（１６枚中４枚を抜粋）



こどもホタレンジャー活動レポート用紙❶

活動した団体・グループ名

ほたるをふやそう！ジュニア隊

活動の場所

長野県　上田市　矢出沢川（やでさわがわ）（一級河川）

住吉橋（すみよしばし）・上須波橋（かみすわばし）・下須波橋（しもすはばし）　付近

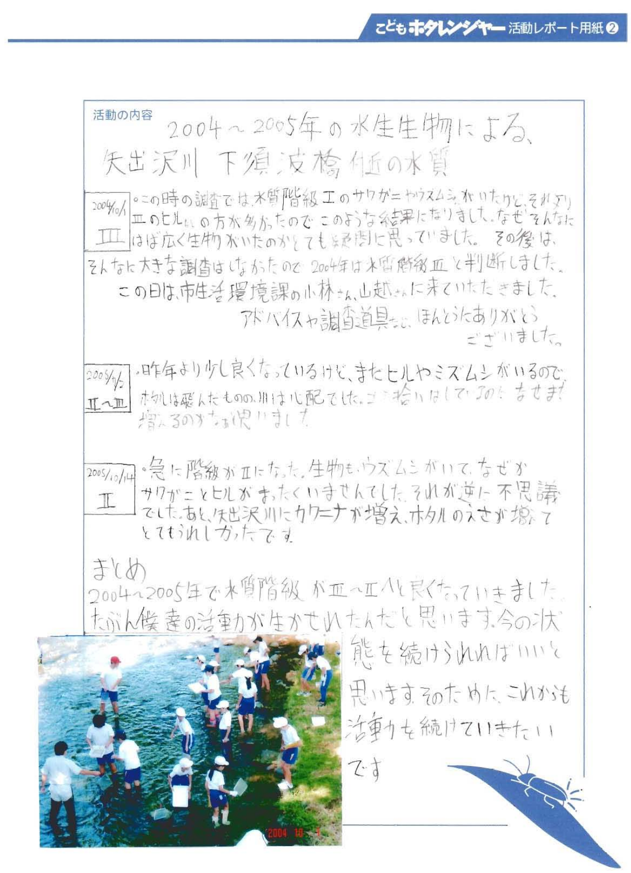
おもしろかったこと、環境大臣やみんなに伝えたいこと

私達は、5年生の時から「ホタルを増やし自然を守ろう」を目標に、色々な活動をしてきました。今までこの活動を通して学んだ事は、全てが未来への課題です。その一つとして、「人間が便利なものをひとつ作れば、自然は必ずひとつ失われる」ということです。実際に、矢出沢川もそんな状態です。

数年前に、矢出沢川沿いに飲食店が建ちました。今も大勢のお客さんでにぎわっていますが、大きな照明のせいで、今まで飛んでいたホタルが消えてしまいました。また今、主に活動している場所の下須波橋付近に大きな会社が建ってしまいました。ホタルが飛び回っても良い時間になっても、その会社ともう1つとなりのガソリンスタンドのとても強い光で、ホタルは姿を現さないのです。そのうち、夜おそくなって会社などの光が消えると、やっとホタルが飛びはじめるのです。

現代の自然たちは、生かすも、殺すも、人間しだいだという事が分かりました。ですから一ヶ所で一匹でも多くのホタルを飛ばして、世界の環境問題の0.1%でも減らしていきたいと思っています。

卒業まで残り4ヶ月となったほたるをふやそう！ジュニア隊の今の目標は「矢出沢川をホタルの名所にする事」です。



こどもホタレンジャー活動レポート用紙❷

活動の内容

2004～2005年の水生生物による、矢出沢川 下須波橋付近の水質

2004/10/1 Ⅲ
・この時の調査では、水質階級Ⅰのサワガニやウズムシがいたけど、それよりⅢのヒルなどの方が多かったので、このような結果になりました。なぜそんなにはば広く生物がいたのかとても疑問に思っていました。その後は、そんなに大きな調査はしなかったので、2004年は水質階級Ⅲと判断しました。
この日は、市生活環境課の小林さん、山越さんに来ていただきました。アドバイスや調査道具など、ほんとうにありがとうございました。

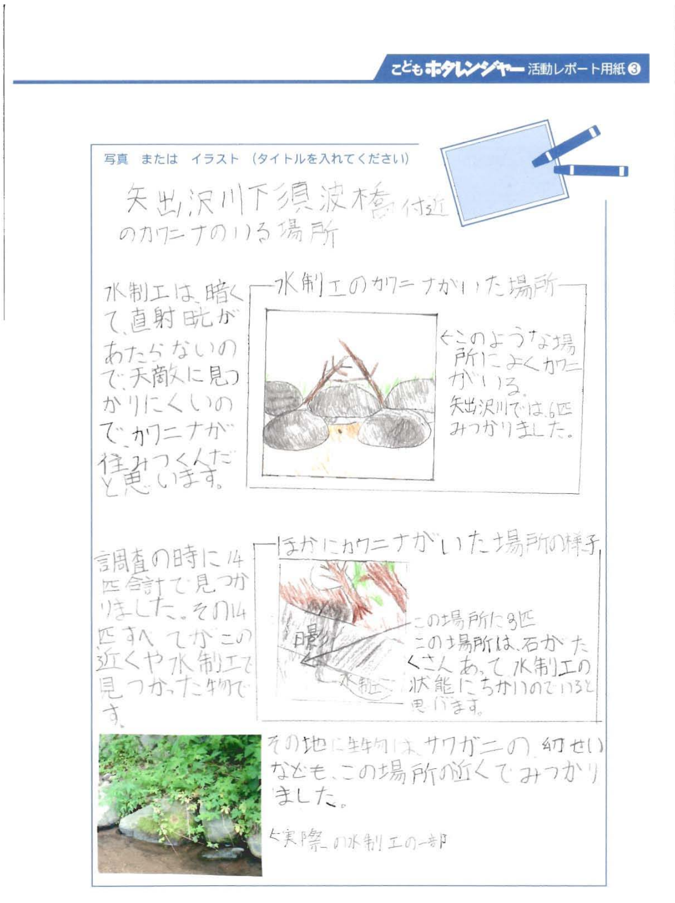
2005/7/2 Ⅱ～Ⅲ
・昨年より少し良くなっているけど、まだヒルやミズムシがいるので、ホタルは飛んだものの、川は心配でした。ごみ拾いはしているのに、なぜまだ増えるのかなぁと思いました。

2005/10/14 Ⅱ
・急に階級がⅡになった。生物もウズムシがいて、なぜかサワガニとヒルがまったくいませんでした。それが逆に不思議でした。あと、矢出沢川にカワニナが増え、ホタルのえさが増えてとてもうれしかったです。

まとめ

2004～2005年で水質階級がⅢ～Ⅱへと良くなっていきました。たぶん僕達の活動が生かせれたんだと思います。今の状態を続けられればいいと思います。そのためにこれからも活動も続けていきたいです

2004 10 1



こどもホタレンジャー活動レポート用紙❸

写真　または　イラスト（タイトルを入れてください）

矢出沢川下須波橋付近のカワニナのいる場所

水制工は、暗くて、直射日光があたらないので、天敵に見つかりにくいので、カワニナが住みつくんだと思います。

―水制工のカワニナがいた場所―

←このような場所によくカワニナがいる。矢出沢川では、6匹みつかりました。

調査の時に14匹合計で見つかりました。その14匹すべてがこの近くや水制工で見つかった物です。

―ほかにカワニナがいた場所の様子

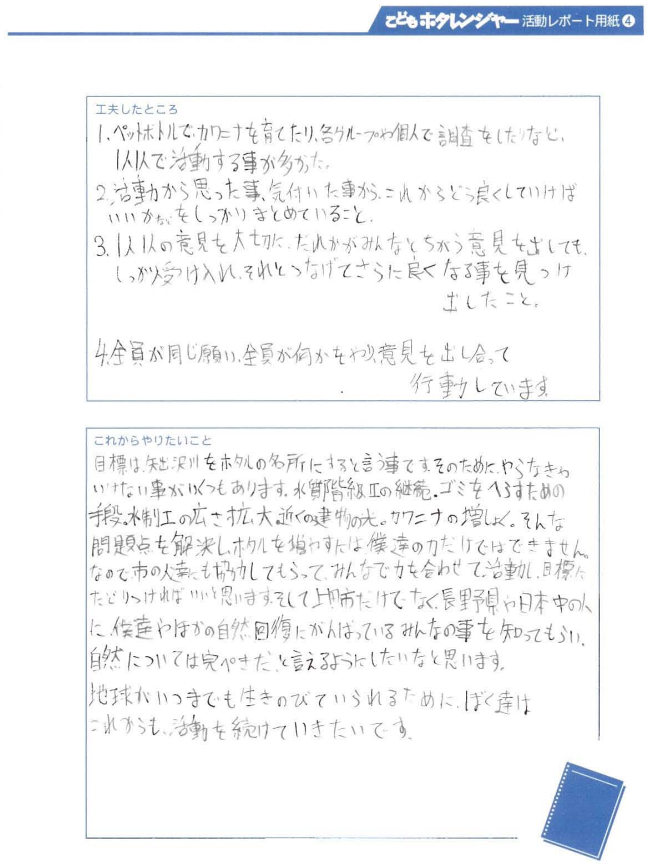
この場所に8匹

この場所は、石がたくさんあって水制工の状態にちかいのでいると思います。

陽
水制工

その地に生物は、サワガニの幼せいなども、この場所の近くでみつかりました。

←実際の水制工の一部



こどもホタレンジャー活動レポート用紙❹

工夫したところ

1. ペットボトルでカワニナを育てたり、各グループや個人で調査をしたりなど、1人1人で活動する事が多かった。
2. 活動から思った事、気付いた事から、これからどう良くしていけばいいかなどをしっかりまとめていること。
3. 1人1人の意見も大切に、だれかがみんなとちがう意見を出しても、しっかり受け入れ、それとつなげてさらに良くなる事を見つけ出したこと。
4. 全員が同じ願い、全員が何かをやり、意見を出し合って行動しています。

これからやりたいこと

目標は、矢出沢川をホタルの名所にすると言う事です。そのためにやらなきゃいけない事がいくつもあります。水質階級Ⅱの継続。ゴミをへらすための手段。水制工の広さ拡大。近くの建物の光。カワニナの増しょく。そんな問題点を解決し、ホタルを増やすには僕達の力だけではできません。なので市の人達にも協力してもらって、みんなで力を合わせて活動し、目標にたどりつければいいと思います。そして上田市だけでなく、長野県や日本中の人に、僕達やほかの自然回復にがんばっているみんなの事を知ってもらい、自然については完ぺきだ、と言えるようにしたいなと思います。

地球がいつまでも生きのびていられるために、ぼく達はこれからも、活動を続けていきたいです。